

society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

信玄の娘たちを描く奉納劇



稽古に励む出演者ら

上演を通して地元の繁栄を祈念し、松姫が榎原村を通った歴史を伝えたいという。舞台には愛知、岐阜、京都、新潟、山梨から出演者が集まり、榎原村からも数人が出演。出演者らは上演を控え、稽古に励んでいるという。

榎原村・天空の舞台で上演へ

武田信玄の娘たちを描いた奉納時代劇「信

玄の娘たち」武田菱を背負った女子」が10月29日、榎原村人里(へんぼり)の天空の舞台で行われる。やまとなでしこプロジェクトが主催し、一般社団法人「人里もみじの里」などが後援する。信玄には数人の娘たちがいたとされる。中でも松姫は武田家滅亡の際、奥多摩の山を越え八王子に落ち延びた。同村にも足跡が残されており、地元では有志が榎原村松姫研究

10月29日 13時開演 観劇無料(事前申し込み制)

会をつくり、史実を掘り起こしている。劇の台本を書き、演出を担当するのが歴史作家の六条太郎さん。4年前から同村にも何度か足を運び、松姫などについて調べを進めてきた。「村の人たちからも話を聞き、協力してもらい今回の舞台が実現した」と話す。

青梅婚活応援隊 Anamira

12月10日 女性大歓迎 クリスマスパーティー 参加者募集

青梅婚活応援隊「Anamira(アナミラ)」主催の婚活イベント

11月30日。12月10日(日)13:30~16:00(受付12:00) 会場は青梅市公会堂。参加費は男性7000円、女性4000円。食事、飲み物付き。締め切りは11月30日。



チラシは青梅市内で回覧された

地域活動に熱心な有志でつくる同応援隊は、少子化や晩婚化が進む社会にあって、出会いの機会が少なくないという男女に出会いの場を提供することを目的に2014年に活動を開始。公的助成金や企業・団体の協賛金などにより支えられ、anamira@outlook.jp

瑞穂町図書館「グッドデザイン賞」ベスト100に選定

瑞穂町図書館(瑞穂町石畑)が、10月5日発表された2023年度のグッドデザイン賞のベスト100に選ばれた。

日本デザイン振興会(港区)が主催する本年度のグッドデザイン賞は5447件が審査の対象になり、2次にわたる審査を経て1548件が受賞した。ベスト100は「独自性、提案性、審美性、完成度」などの面



町民の暮らしに溶け込む図書館に

増築。周辺公共施設と

WEB版東京25ジャーナルは毎週土曜日に配信します。

25区管内の政治、経済、社会、まちの話題を掲載



情報提供・広告の問い合わせなどは
題字下メールをご利用ください。

新たな関係性を保ち、館内には町民の「日常の居場所」となるデザインを施した。評価のポイントとして、大胆な減築と増築により、構造的安定性や利用者の使い勝手だけでなく、敷地周辺と新しい関係を築いたことや、町民たちとワークショップを重ね、「日常の居場所」として瑞穂町ならではの図書館像を共有し実現したと、公共施設であるにもかかわらず「禁止サイン」の表示を一切なくすなど、「革新的な試み」の運営が実行されている、などを挙げた。同館は2021年に増改築工事を行い、2022年3月にリニューアルオープンした。町田陽生館長は「設計段階から住民の意見を聞き、事業を進めてきた。住民と共にあるという瑞穂町図書館が大事にしてきたことが客観的に評価され大変うれしい。今後も住民によりそう図書館でありたい」と話す。